

DP1X 機能変更のお知らせ (ファームウェアバージョン 1.03)

日本語

DP1X は、ファームウェアのバージョンアップ(ファームウェアバージョン 1.03)により、以下の機能が追加・変更となります。(ファームウェアバージョン 1.03 で追加された項目に **(Ver.1.03)** と記しています。)

セットアップメニューで表示される言語を追加 (Ver.1.03)

セットアップメニューで表示される言語を 7 言語追加しました。セットアップメニューの「言語 (Language)」の項目より、希望の言語を選択してください。

追加された言語：

オランダ語 (Nederlands)	デンマーク語 (Dansk)	ノルウェー語 (Norsk)
ポーランド語 (Polski)	スウェーデン語 (Svenska)	フィンランド語 (Suomi)
ポルトガル語 (Português)		

CP キャプチャー優先モード

通常の 1 コマ撮影では、撮影後すぐに画像処理がスタートするため、次の撮影が可能になるまで多少の時間が掛かります。キャプチャー優先モードは、バッファがいっぱいになるまでリリース操作を優先する、シャッターチャンスに強い 1 コマ撮影モードです。

設定方法：

クイックセットメニュー (P.34) のドライブモードから **CP** を選択、もしくは「**撮影設定**」(P.26) → 「**ドライブモード**」 → 「**CP キャプチャー優先**」を選択します。

キャプチャー優先モードに設定すると、画面右下に、CP タイマーと撮影可能枚数が表示されます。撮影すると CP タイマーがカウントダウン表示されます。



キャプチャー優先モードでは、バッファがいっぱいになった時点で画像処理が始まりますが、一定の時間が経過すると自動的に画像処理が始まります。「**CP タイマー設定**」で画像処理が始まる時間を変更することができます。

「**撮影設定**」(P.26) → 「**CP タイマー設定**」より設定します。

次の時間から選択できます。

5 秒、10 秒 (初期設定)、30 秒、60 秒

CP タイマー作動中に以下の操作を行うとタイマーがリセットされ、再度設定時間からカウントダウンされます。

シャッターボタンを半押しする MENU ボタンを押す OK ボタンを押す	メニューボタンを押す MF 時に拡大表示をする 他の露出モードに変更する
--	--

CP タイマー作動中は、再生ボタンを押すことで、任意のタイミングで画像処理を開始することができます。

ご注意!!

● ドライブモードをキャプチャー優先に設定すると、下記の機能が使用できなくなります。

インターバルタイマー 音声付静止画	マイセッティングの保存 マイセッティングの呼出	カスタムホワイトバランスの取り込み
----------------------	----------------------------	-------------------

- オートブラケット設定を行うと、強制的に 1 コマ撮影に変更されます。
- CP タイマー作動中は、LCD オフとオートパワーオフが働きません。
- CP タイマー作動中は、ドライブモードの変更ができません。画像処理が完了してからドライブモードを変更して下さい。
- CP タイマー作動中は、再生モードに変更できません。一度 **再生** ボタンを押して画像処理を完了させてから、再度 **再生** ボタンを押して再生モードに移して下さい。
- バッテリーの容量が残りわずかな場合や、カードの空き容量がなくなった場合、タイマーの設定に関らず画像処理が開始されます。

フォーカスモードの切り替え順序を変更

フォーカスモード (P.48) の切り替え順序を [通常 AF → LIMIT モード → MF] に変更し、DP2X との操作性の統一を図りました。

AF 合焦時の拡大表示機能の追加

ピントが合った時(フォーカスフレームが緑色の時)に、シャッターボタンを半押ししたまま **拡大** ボタンを押すと、拡大表示になりピントの状態が確認できます。(拡大表示中は液晶モニタに **拡大** アイコンが表示されます。) シャッターボタンを半押ししたまま **通常** ボタンを押すと通常表示に戻ります。

画質の設定に RAW+JPEG モードを追加

画質の設定に、RAW と JPEG の同時記録モードを追加しました。クイックセットメニュー (P.34)、もしくは「**撮影設定**」(P.26) → 「**画質**」より、**RAW+JPG (RAW+JPEG)** を選択してください。

ご注意!!

- 同時記録の JPEG の画像サイズは **HI**、画質は **FINE** となります。
- 設定できる ISO 感度は 800 までとなります。
- ISO 感度を 1600 以上を設定していても、画質を **RAW+JPG** に変更すると ISO 感度が自動的に 800 に切り替わります。
- カラーモードの白黒とセピアは選択できません。
- カラーモードが白黒、もしくはセピアに設定されている時に、画質を **RAW+JPG** に変更すると、カラーモードが自動的に **STD.** (スタンダード) に切り替わります。
- 音声付静止画は設定できません。
- **RAW+JPG** で記録された画像に、音声メモを付けることはできません。
- **RAW+JPG** で記録された画像を削除する場合、RAW 画像、JPEG 画像共に消去されます。

フォーカスフレーム (P.49) に関する機能を強化

9 個のフォーカスフレームから選択する「9 点選択モード」に加え、フォーカスフレームを任意の位置に細かく移動できる「自由移動モード」を追加しました。また、通常のフォーカスフレームよりも、狙ったポイントをより確実に測距することができる、ピンポイントフォーカスフレームを追加しました。



設定方法：

メニューボタンを押します。

- **9点** ボタンを押すたびに、「9 点選択モード」と「自由移動モード」が切り替わります。
 - 「9 点選択モード」時は、**9点** ボタンで任意のフォーカスフレームを選択します。
 - 「自由移動モード」時は、**移動** ボタンで任意の位置にフォーカスフレームを移動します (フォーカスフレーム移動エリアの範囲内で移動できます)。
 - **拡大** ボタンを押すとピンポイントフォーカスフレームになり、**通常** ボタンを押すと通常のフォーカスフレームになります。
- OK ボタンを押して確定します。
- ピンポイントフォーカスフレームに設定している時は、ピント確認のための拡大表示 (P.50) の拡大率が、通常のフォーカスフレーム設定時の約 2 倍になります。